



台風・大雨被害に備えましょう！

近年、台風や局地的な大雨により、冠水や道路の寸断など、畜産経営に影響が出る被害が発生しています。今後も台風等による災害発生のリスクがあることから、減災のための取り組みに努めましょう。

事前の対策

それぞれの農場に必要な準備に努めましょう。

- ・ 府や市町村の防災ハザードマップを確認し、どのような災害に遭う可能性があるかを把握。
- ・ 管理者や家畜・家きんの避難先や避難経路を検討。
- ・ 浸水や停電に備え、発電機や排水ポンプ等を準備。
- ・ 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫として持つ。 飲水についても貯留タンクの設置やくみ上げポンプなどを準備。



被害拡大防止のための対策

- ・ 市町村などから避難勧告が出された場合には、人命を守るための行動を最優先しましょう。
- ・ 避難までに時間的余裕がある場合には、しばらく飼養管理ができない可能性を考えた対応・対策を講じましょう。
- ・ 機械への通電を再開する際には、漏電やショートに留意し、安全に気をつけて作業をしましょう。
- ・ 道路の寸断等により車両による飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定される場合には、家畜・家きんの生命維持を優先に、飼養管理を変更しましょう。また、避難先候補地への家畜・家きんの移動も検討しましょう。

家畜・家きんに異常が認められた場合は、当所まで連絡して下さい。

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)

FAX:0774-52-2030